

公 表

理容職種 第 56 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

第 56 回技能五輪全国大会「理容」職種 競技課題

1. 競技課題および時間

競技課題 1 ファッションヘアカット&カラー	140 分
競技課題 2 クラシカルバック バリエーションヘア	120 分
競技課題 3 ファッションパーマネントウェーブ&カット (写真解釈)	160 分
競技課題 4 ストレートパーマ スタイルチェンジ	120 分

2. 競技の内容

選手は競技課題に沿ったスタイルを3体のマネキンで4種目すべて作成すること。

3. モデル

モデルは会場で配布の指定マネキンで、第3、4競技課題は同一のマネキン、第1、2競技課題は各1体別のマネキンを使用する。

マネキンは会場で配布し、選手持参のマネキンは使用できない。

各課題とも競技時間内に持参のボディーと衣裳を装着すること（参考資料1参照）。

マネキンの胸部より下に、新たな衣装および装飾品をつけてはならない。

衣裳は現代のファッションに適応したもので、軍服や歴史的な衣裳は禁止する。

4. 競技会場設備

選手一人あたりの作業面積は4 m²とする。

電源のコンセントは選手一人につき1200ワットまでとする（二カ口）。

作業用テーブルと折りたたみ椅子を設置する。

5. 支給材料

メンズマネキン

No.212F (L) × 1個 (競技課題3・4で使用) : (株)三矢

No. 212F (L) プラチナブロンド × 1個 (競技課題1で使用) : (株)三矢

No.503 × 1個 (競技課題2で使用) : (株)三矢

カラーリング用2剤

レベル マテリアオキシ1000ml 6% × 1本 : タカラベルモント(株)

6. 競技日程

11月 2日 (金) 下見 (集合時間) 10時30分 終了時間 12時00分

11月 3日 (土) 競技 (集合時間) 10時00分 終了時間 16時05分

11月 4日 (日) 競技 (集合時間) 9時30分 終了時間 15時50分

7. 提供品（予定）

シャンプー

ユニフィット リセットシャンプー : クラシエホームプロダクツ販売(株)

コンディショナー

ユニフィット リペアコンディショナー : クラシエホームプロダクツ販売(株)

ブリーチ剤

レベル プラチナブリーチ : タカラベルモント(株)

公 表

理容職種 第 56 回大会用

※ は前回大会用資料の記述から変更しています。

選手の留意事項

1. 競技は競技・運営委員の合図で一斉に始めること。
※薬剤の準備等含め、すべて競技時間内に行うこと。
2. 終了時間になり次第、直ちに作業をやめ、競技委員の指示に従い待機または次の準備を行うこと。
3. 競技終了後、競技作業場の清掃および整理整頓は各自が責任を持って行うこと（5分程度）。
4. ボディーや衣裳は、競技時間内に装着すること。
5. 清潔で作業のしやすい、理容師らしい作業衣を着用すること。
6. 競技課題は提示された通り、正確かつ丁寧で美しい作品を作業時間内で完成させること。
7. 作業は競技課題に従い確実に行うこと。
8. 質問等は挙手で合図し、競技委員の指示に従うこと。
9. 禁止事項に抵触した場合、重大な減点の対象となる。
10. その他、競技委員の指示に従い行動すること。

禁止事項

1. 指定以外のマネキンを使用すること。
2. 携帯電話等、外部との連絡を取るためのツールを会場内で使用すること。
3. 競技時間中に選手同士および外部と会話をすること。
4. 競技時間中に用具、薬剤の貸し借りをすること。
5. 作業スペース以外で作業を行うこと。
6. マネキンにメイクや印をつけること。
7. 指定以外の電気器具を使用すること。
8. 競技終了後にウィッグの頭部に触れること。
9. 国の基準に合わない薬剤、指定以外の薬剤を使用すること。
10. 上記のほか、競技課題毎に定めた禁止事項に抵触した場合は、重大な減点の対象となる。

その他の事項

1. 競技中、選手は競技エリアから出ないこと（トイレに行く場合は競技・運営委員または補佐員に必ず申し出ること。またこれに要する時間は作業時間内とする）。
2. 支給のマネキンはすべて検品してあるので交換はできない。ただし、何か重大な問題が生じている場合のクレームは申し出ることができる。
3. 作業テーブル番号は選手受付時に抽選で決定する。
4. マネキンの首のキャップ前側にゼッケン番号のシールを必ず貼ること。
5. 電源、シャワー等のトラブルは近くの競技委員または補佐員に申し出ること。
6. 競技時間は理容職種競技会場内の時計で表示する。 ※競技終了時間はホワイトボードに表示
7. 終了前の時間の告知は運営委員によって行われる。
8. 競技終了の合図で選手はマネキンから必ず離れ、その後は触れないこと。
9. 競技終了後は速やかに荷物を片づけ、髪などのゴミを所定の場所に片づけること。
10. マネキンの取り扱いは人間を想定し取り扱うこと（下に叩きつけるような行為等は禁止）。
11. 紋創膏の準備等、各自ケガへの対策を講じること。

公 表

理容職種 第 56 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題 1 ファッションヘアカット&カラー

1. 競技時間

140分

2. 髮型

男性のファッショナブルなスタイルであること。

奇妙でも革新的でもなく、時代性を取り入れたファッショナブルなスタイルであること。

(1) セット

アヴァンギャルドなスタイルではなく、ファッショナブルなスタイルであること。

セット用具、器具はすべて自由（電気器具は除く）。

(2) カラー

ファッショナブルなカラーであること。

技能五輪国際大会を意識し、外国人のファッショナブルなスタイルであること。

すべての毛髪に着色する必要がある。

※ウイービング、スライシング、グラデーションなどのカラーリングテクニックを用いること。

※薬液処理等のドライヤー加熱時は、ドライヤーボンネットを使用しても良い。ビニール袋の使用は不可。

※前処理剤、後処理剤、ダメージ軽減のためのトリートメント剤を使用（混合）してもよい。

(3) カット

長さは自由。クリッパーの使用は不可。ただし 1mm 以下のトリマーは可とする（アタッチメントの使用は不可）。

3. 使用できる電気器具

ハンドドライヤー、ヘアアイロン、トリマー

4. 整髪料

一切自由（ただし、カラースプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く）。

公 表 理容職種 第 56 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

5. 採点項目および配点

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	カットとスタイリングの全体的印象	10	3
カラー	カラーリングの全体的印象	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審査項目	減点
すべての毛髪に着色できていない 1割できていない=△1点 2割=△2点 3割以上=△3点	△1～3点
ウィービングやスライシングなどのテクニックを用いていない	△3点
カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している 1箇所=△1点 2箇所=△2点 3箇所以上=△3点	△1～3点
刈り毛が付着している 顔に付着している=△1点 耳や襟に付着している=△1点	△1～2点
衣装の不備 衣装の装着が不完全=△1点 衣装が装着されていない=△2点	△1～2点

不安全行動に対する減点

減点項目	減点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点

公 表

理容職種 第 56 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題 2 クラシカルバック バリエーションヘア

1. 競技時間

120分

2. 髮 型

伝統的なクラシカルカットによるファッショナビティとデザイン性を備えたスタイルであること。

(1) カット

カットはクラシカルヘアカットであること。

ネックラインは男性的な美しいぼかしであること。

すべての鉄（すきバサミを含む）・レーザーを使用してもよい。

襟足とサイドは伝統的なテーパーをつけ、毛量を段階的に減らす。

クリッパーの使用は不可。

(2) カラー

カラーは3色以上とする。脱色・脱染のみは1色として換算しない。

※カラーリング2剤は支給材料（レベル マテリアオキシ6%）を使用すること。

※前処理剤、後処理剤、ダメージ軽減のためのトリートメント剤を使用（混合）してもよい。

(3) セット

セット用具、器具は全て自由（電気器具は除く）。

フロントのデザインは自由とする。

3. 使用できる電気器具

ハンドドライヤー

4. 整髪料

一切自由（ただし、カラースプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く）。

公 表 理容職種 第 56 回大会用 ※ は前回大会用資料の記述から変更しています。

5. 採点項目および配点

主観審査

<u>審査項目</u>	<u>審査細目</u>	<u>配点</u>	<u>ウェート</u>
カット・セット	カットとスタイリングの全体的印象	<u>10</u>	<u>3</u>
カラー	カラーリングの全体的印象	<u>10</u>	<u>3</u>
トータルバランス	トータルバランス	<u>10</u>	<u>4</u>

客観審査

<u>審査項目</u>	<u>減点</u>
カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している 1箇所=△1点 2箇所=△2点 3箇所以上=△3点	<u>△1～3点</u>
ネックラインにシャープさがない ネックラインがゆがんでいる=△1点 ネックラインがついていない=△2点	<u>△1～2点</u>
後頭下部に色彩がない	<u>△1点</u>
刈り毛が付着している 顔に付着している=△1点 耳や襟に付着している=△1点	<u>△1～2点</u>
衣装の不備 衣装の装着が不完全=△1点 衣装が装着されていない=△2点	<u>△1～2点</u>

不安全行動に対する減点

<u>減点項目</u>	<u>減点</u>
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	<u>△1点</u>

公 表

理容職種 第 56 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題3 ファッションパーマネントウェーブ&カット (写真解釈)

1. 競技時間

160分(以下の時間区分で実施すること)

作成時間(パーマネントウェーブ、ヘアカット)	125分
インターバル	10分
フィンガーセット	25分

2. 写 真

主催者側があらかじめ用意した複数枚の写真から、競技当日、競技主査が無作為に1枚選択し、競技開始と同時に掲示する。

3. 髮 型

正面写真のみが与えられ、選手は写真を再現する(写真と非常に近いもの)必要がある。写真は正面のみとし、その他は自由なデザインとする。

(1) パーマネントウェーブ

使用するパーマロッド数は、最大35本までとする(ピンパーマはその範囲ではない)。

薬液処理等のドライヤー加熱時は、ドライヤーボンネットを使用してもよい。ビニール袋の使用は不可。

※前処理剤、後処理剤、ダメージ軽減のためのトリートメント剤を使用(混合)してもよい。

(2) カット

写真以外の髪の長さは自由。クリッパーおよびトリマーの使用は不可。

カットは、パーマのワイディングの前後いつ行っても良い。

ただし、セット時間に入ってからのカット、トリミングは不可。

(3) セット

フィンガーセット 25分間

ハンドドライヤーのみ使用してスタイリングを行う。

※注意 セット中はハンドドライヤー以外のセット用具は使用禁止。

整髪料は使用しても良い。

4. インターバル

セットに入る前に10分間のインターバルを取り、必ずマネキンを水洗いする。

この間にボディーと衣装の装着をしても良い。

※注意 水洗い後のセット用具の使用は禁止。

5. 使用できる電気器具

ハンドドライヤー

6. 整髪料

一切自由(ただし、カラースプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く)。

公 表 理容職種 第 56 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

7. 採点項目および配点

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
<u>カット・セット</u>	<u>写真と同様の長さ、質感、流れ、動きにカット・セットされているか</u>	<u>10</u>	<u>3</u>
<u>パーマ</u>	<u>パーマで写真と同様の流れや動きが表現されているか</u>	<u>10</u>	<u>3</u>
<u>トータルバランス</u>	<u>トータルバランス</u>	<u>10</u>	<u>4</u>

客観審査

審査項目	減点
<u>ロッドの跡がついている</u> <u>パーマ部分の1／3についている=△1点</u> <u>パーマ部分の2／3についている=△2点</u> <u>パーマ部分のすべてについている=△3点</u>	<u>△1～3点</u>
<u>輪ゴムの跡がついている</u> <u>パーマ部分の1／3についている=△1点</u> <u>パーマ部分の2／3についている=△2点</u> <u>パーマ部分のすべてについている=△3点</u>	<u>△1～3点</u>
<u>刈り毛が付着している</u> <u>顔に付着している=△1点 耳や襟に付着している=△1点</u>	<u>△1～2点</u>
<u>衣装の不備</u> <u>衣装の装着が不完全=△1点 衣装が装着されていない=△2点</u>	<u>△1～2点</u>

不安全行動に対する減点

減点項目	減点
<u>ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない</u>	<u>△1点</u>

公 表

理容職種 第 56 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題4 ストレートパーマ スタイルチェンジ

1. 競技時間

120分（以下の時間区分で実施すること）

ストレートパーマ 60分

ストレートパーマチェック

カット・セット 60分

2. 髮型

第3課題「ファッショナーマネントウェーブ&カット（写真解説）」で作成したマネキンをストレートパーマとカットによりスタイルチェンジする。

セットではないケミカルなストレートパーマ、ヘアカットを行い、必ず刈り上げを施したファッショナブルなスタイルであること。

（1）パーマ

すべての髪にストレートパーマを施すこと（カット予定の髪も含めすべて）。

ストレートパーマは、カット・セット前に競技委員によって客観審査される。

ストレートパーマ時間中に1液、2液処理、リンシングを終わらせ、放射状にコーミングした状態でチェックを受けること。

※ストレートパーマチェック中、選手は競技エリアに入ることはできない。

（2）カット

器具は自由。

カットはストレートパーマチェックを受けた後、行うこと。

必ず刈り上げを施すこと。

（3）セット

刈り上げを施したファッショナブルなスタイルであること。

3. 使用できる電気器具

ハンドドライヤー、クリッパー、トリマー。

4. 整髪料

一切自由（ただし、カラースプレー、カラー粉末およびそれに類似するものは除く）。

公 表 理容職種 第 56 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

5. 採点項目および配点

主観審査

<u>審査項目</u>	<u>審査細目</u>	<u>配点</u>	<u>ウェート</u>
<u>カット</u>	<u>カットの全体的印象</u>	<u>10</u>	<u>3</u>
<u>セット</u>	<u>セットの全体的印象</u>	<u>10</u>	<u>3</u>
<u>トータルバランス</u>	<u>トータルバランス</u>	<u>10</u>	<u>4</u>

客観審査

<u>審査項目</u>	<u>減点</u>
<u>ストレートパーマがかかっていない</u> <u>Jカール=△1点 Cカール=△2点 Sウェーブ=△3点</u>	<u>△1～3点</u>
<u>すべての髪にストレートパーマがかかっていない</u> <u>1割できていない=△1点 2割=△2点 3割以上=△3点</u>	<u>△1～3点</u>
<u>刈り毛が付着している</u> <u>顔に付着している=△1点 耳や襟に付着している=△1点</u>	<u>△1～2点</u>
<u>衣装の不備</u> <u>衣装の装着が不完全=△1点 衣装が装着されていない=△2点</u>	<u>△1～2点</u>

不安全行動に対する減点

<u>減点項目</u>	<u>減点</u>
<u>ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない</u>	<u>△1点</u>